

平成25年(2013年)3月期 第1四半期決算



現況と今後の展望(業績説明会資料)



(ダイバーシティ東京 プラザ 店 : 東京都江東区青海)
2012年4月19日オープン

株式会社ラウンドワン

代表取締役社長 杉野 公彦

東証・大証 市場第一部

Code Number: 4680

2012年8月8日

2013年3月期 第1四半期 連結決算の概要



		単位	2012年3月期 (2011.4~2011.6) 前四半期実績	2013年3月期 (2012.4~2012.6) 当四半期実績	増減
店舗	期末店舗数	店舗数	109	112	+3
	期中店舗稼働月数	月数	327	334	+7

(億円未満は切り捨て表示)

損益 (PL)	ボウリング	億円	81	72	8
	アミューズメント	億円	90	84	6
	カラオケ	億円	19	18	0
	スポッチャ	億円	22	23	+1
	その他	億円	7	7	0
	総売上	億円	222	207	14
	営業利益	億円	43	22	21
	経常利益	億円	31	10	21
	売上高経常利益率	%	14.3%	4.9%	9.4%
	四半期純利益	億円	18	4	13

【四半期純利益の計算式】

(千万円未満は切り捨て表示)

2012年3月期 第1四半期 (2011.4~2011.6)		2013年3月期 第1四半期 (2012.4~2012.6)	
経常利益	31.7億円	経常利益	10.0億円
特別損失	0.1億円	賃貸借期間終了に伴う退店損 (瑞穂店:2012年9月2日まで営業予定)	2.4億円
法人税等による調整等	13.3億円	法人税等による調整等	3.2億円
四半期純利益	18.2億円	四半期純利益	4.3億円

2013年3月期 第1四半期 連結決算の分析



(単位:億円 単位未満は切り捨て表示)

		2013年3月期 (2012.4~2012.6) 計画	2013年3月期 (2012.4~2012.6) 実績	差額	備考
損益	ボウリング	75.6	72.7	2.9	【経常利益の計画差の要因】 計画額 <u>18.1億円</u> ・売上高の減少 4.3億円 ・その他費用の差異 3.8億円 実績額 <u>10.0億円</u> 第1四半期において経常利益は約8億円の未達ですが、通期計画は見直しておりません。
	アミューズメント	85.4	84.7	0.6	
	カラオケ	18.9	18.9	0.0	
	スポッチャ	23.8	23.6	0.2	
	その他	7.7	7.3	0.3	
	総売上	211.7	207.4	4.3	
	売上原価	178.7	181.1	+2.3	
	売上総利益	32.9	26.2	6.6	
	販売費及び一般管理費	4.3	4.2	0.0	
	営業利益	28.6	22.0	6.6	
	営業外損益	10.5	11.9	1.4	
	経常利益	18.1	10.0	8.0	
	売上高経常利益率	8.6%	4.9%	3.7%	
	特別損益	1.0	2.1	1.1	
税引前当期純利益	17.1	7.9	9.1		
法人税等	8.1	3.5	+4.5		
四半期純利益	9.0	4.3	4.6		

2013年3月期 連結四半期 実績と計画



2013年3月期 (2012年4月～2013年3月)

(単位: 億円 単位未満切り捨て表示)

	第1四半期			第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	通期
	計画	実績	差額	計画	計画	計画	計画	計画	計画
総売上	211	207	4	235	447	203	249	453	900
売上原価	178	181	+2	188	367	186	187	373	740
売上総利益	32	26	6	46	79	17	62	79	159
販売費及び一般管理費	4	4	0	4	8	4	4	9	18
営業利益	28	22	6	42	71	12	57	70	141
営業外損益	10	11	1	10	21	9	10	20	41
経常利益	18	10	8	31	50	2	47	50	100
売上高経常利益率	8.6%	4.9%	3.7%	13.5%	11.2%	1.1%	19.2%	11.0%	11.1%
特別損益	1	2	1	24	25	1	49	50	75
税引前当期純利益	17	7	9	7	25	1	1	0	25
法人税等	8	3	+4	4	12	1	0	2	15
当期(四半期)純利益	9	4	4	3	12	0	1	2	10
既存店売上高前年比(国内)	8.6%	10.9%	2.3%	5.6%	7.1%	3.8%	0.3%	1.9%	4.6%

(注) 本関連の費用 大部分が支払利息 内訳: 70億円(セール・アンド・リースバックによる損失)、5億円(アミューズメント基板の除却等)

第1四半期の実績が確定しましたが、第2四半期以降の計画は期初より変更しておりません。従いまして、第1四半期の実績と以降の四半期計画等を集計しても、上期計画や通期計画の数字とは合致しませんので、ご了承願います。

既存店舗のセール・アンド・リースバックを実行した際には、業績に与える影響を含めて随時開示する予定です。

2013年3月期 連結計画 出店と損益



< 2012年5月11日発表時からの変更点 出退店数 >

(単位未満は切り捨て表示)

		単 位	2012年3月期 実績	2013年3月期 計画	増 減
店 舗	新規出退店数	店	1	4(5-1)	+3
	総店舗数(期末)	店	110	114	+4
	【内訳】所有店舗	店	63	53	10
	賃借店舗	店	47	61	+14
	総店舗稼働月数	月数	1,314	1,345	+31
損 益	ボウリング	億円	324	319	5
	アミューズメント	億円	364	359	4
	カラオケ	億円	82	83	+1
	スポッチャ	億円	94	106	+11
	その他	億円	30	31	+0
	総売上	億円	895	900	+4
	営業利益	億円	160	141	19
	経常利益	億円	114	100	14
	売上高経常利益率	%	12.8%	11.1%	1.7%
	当期純利益	億円	27	10	17

2013年3月期の新規出退店・・・国内出店 3店舗 ガバ-ティ東京ブザ'店、千日前店、(仮称)池袋店 / 国内退店 1店舗 瑞穂店

米国出店 2店舗 (仮称)モレノバレー店、(仮称)レイクウッド店

当期純利益の計算式：

【2012年3月期実績】経常利益114.8億円 - セルアド・リース'による損失50.3億円 - 減損損失2.9億円 - 法人税等による影響33.6億円 = 当期純利益27.8億円

【2013年3月期計画】経常利益100億円 - セルアド・リース'による損失70億円 - その他アミューズ基板の除却等5億円 - 法人税等による影響15億円

= 当期純利益10億円

2013年3月期 連結計画

キャッシュ・フロー



< 2012年5月11日発表時からの変更点 設備投資額の内訳(投資額は変更なし) >

(単位未満は切り捨て表示)

		単位	2012年3月期 実績	2013年3月期 計画
資 金	当期純利益	億円	27	10
	法人税等調整額(引当・納付・還付を合算表示)	億円	41	10
	セール・アンド・リースバックの実施による 資金の流出を伴わない損失等	億円	52	75
	配当金額	億円	19	19
	減価償却費(リース取引を除く)	億円	84	67
	簡易キャッシュフロー	億円	187	143
	設備投資額(リース取引を除く)	億円	25	29
	既存店舗の売却による資金の増加	億円	224	170
	保証金の流動化による資金の増加	億円	15	-
	簡易フリーキャッシュフロー	億円	401	284
	現預金残高	億円	294	257
	有利子負債残高	億円	1,109	787
	実質有利子負債残高	億円	814	529

2013年3月期の設備投資額の概算内訳

- ・約16億円 …… 新規店舗(10億円:日本国内3店舗、6億円:米国2店舗)
 - ・約13億円 …… 既存店舗(一部の改装やアミューズメント基板(キット)購入他)
- セール・アンド・リースバック(10店舗前後)の実行を見込んだものです。

店舗数・損益状況(連結)と既存店売上前年比(国内)の推移



店舗・損益の推移(連結ベース)

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期 計画
期中出店数	11	15	11	13	11	4	1	5
期中退店数	0	0	1	2	0	0	0	1
期末店舗数	58	73	83	94	105	109	110	114
【内訳】所有店舗	29	42	49	61	69	69	63	53
賃借店舗	29	31	34	33	36	40	47	61

(注) 2006年3月期末の所有店舗には、2007年3月期以降に連結した会社が所有していた店舗を含んで表示しております。(億円未満は切り捨て表示)

売上高	502億円	658億円	779億円	779億円	821億円	843億円	895億円	900億円
営業利益	127億円	179億円	182億円	136億円	120億円	114億円	160億円	141億円
経常利益	134億円	163億円	159億円	97億円	78億円	69億円	114億円	100億円
経常利益率	26.7%	24.9%	20.5%	12.6%	9.6%	8.2%	12.8%	11.1%
当期純利益	119億円	97億円	91億円	39億円	33億円	126億円	27億円	10億円

(注) 2006年3月期は連結財務諸表を作成していないため、非連結額を記載しております(2007年3月期以降は連結額を記載しております)。

既存店売上前年比の推移(国内店舗のみ)

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期 計画
ボウリング	+19.4%	+7.1%	+1.4%	6.5%	4.0%	3.7%	+0.4%	5.7%
アミューズメント	+11.5%	+0.1%	6.8%	10.8%	9.8%	+0.0%	1.1%	6.4%
カラオケ	4.5%	+4.0%	1.2%	7.3%	13.1%	+3.4%	+15.8%	4.0%
スポッチャ	-	-	16.1%	9.8%	9.2%	4.5%	+7.5%	+5.7%
その他	11.3%	9.2%	+13.2%	+11.4%	3.9%	14.5%	+1.3%	4.0%
総売上	+11.6%	+2.0%	4.0%	8.5%	7.7%	2.2%	+1.7%	4.6%

(注) 2010年8月にオープンした米国店舗を除いて集計しております。

既存ローンの借り換えと資産等の推移(連結)



既存ローンの借り換え

	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 予定	2014年3月期 予定	2015年3月期 予定
期中借り換え額	約110億円	約128億円	約159億円	約308億円	約54億円	約240億円	約53億円
進捗状況	全額借り換え済み	全額借り換え済み	全額借り換え済み	全額借り換え済み	概ね借り換え済み	既存借入先を中心に交渉予定	既存借入先を中心に交渉予定

(注) 上記の借り換え額は、連結子会社を含む当社グループ全体の金額です。

2013年3月期の借り換え額(約54億円)の進捗状況 約51億円(借り換え済み)、約3億円(手元資金で返済予定)

2014年3月期の借り換え額(約240億円)には、メインバンクである三井住友銀行が組成し、その大部分の融資を実行したシンジケート・ローン(約162億円)が含まれております。

資産等の推移

(億円未満は切り捨て表示)

	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 計画
総資産	1,663億円	1,763億円	2,160億円	2,512億円	2,521億円	2,282億円	1,968億円
純資産	618億円	696億円	723億円	856億円	790億円	798億円	789億円
株主資本比率	37.2%	39.5%	33.5%	34.1%	31.3%	35.0%	40.1%
現預金残高	288億円	229億円	215億円	308億円	227億円	294億円	257億円
有利子負債残高	939億円	985億円	1,179億円	1,388億円	1,361億円	1,109億円	787億円
保証債務	31億円	409億円	419億円	318億円	82億円		
実質有利子負債残高	682億円	1,165億円	1,383億円	1,398億円	1,216億円	814億円	529億円
リース債務	258億円	268億円	271億円	259億円	284億円	273億円	280億円

(注) 保証債務とは、子会社にて調達した開発期間中のローンに対してラウンドワンが連帯保証するものです。これらは店舗のオープン時期にローンが返済されるため、保証債務は無くなりますが、通常は長期ローンに切り替わる事により、有利子負債に計上されます。

2013年3月期計画には、現在計画中及び想定される既存店舗のセール・アンド・リースバックによる有利子負債の減少額を織り込んでおります。

中期経営計画(2016年3月期まで)



有利子負債の削減 (B/S)

セール・アンド・リースバック(店舗資産(土地・建物等)を売却と同時に賃借)の活用

年間返済額 約300億円: 約定返済額 約100億円 + セール・アンド・リースバックの実行による返済額 約200億円

2016年3月期までに実質無借金体制へ

セール・アンド・リースバック実行時に売却損が発生した場合、会計上の特別損失となり当期純利益が減少いたします(税効果の影響により、キャッシュ・フローではプラス面も)。また売却により得た資金が借入金残高よりも少ない場合は、手元資金の流出を伴う可能性があります。



(億円未満は切り捨て表示)

	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 計画
現預金残高	288億円	229億円	215億円	308億円	227億円	294億円	257億円
有利子負債残高	939億円	985億円	1,179億円	1,388億円	1,361億円	1,109億円	787億円
保証債務	31億円	409億円	419億円	318億円	82億円		
実質有利子負債残高	682億円	1,165億円	1,383億円	1,398億円	1,216億円	814億円	529億円

経常利益200億円の達成 (P/L)

既存店舗の業績向上 + 新規出店により達成へ

- ・ 既存店舗の業績向上: 2012年3月期実績を100として2016年3月期までに既存店売上が約107となれば達成が可能
- ・ 国内のショッピングモール等への出店と米国での展開により増益を加速

ボウリング

ぴったりスコア チャレンジ

1ゲームのスコアが達成条件と“ぴったり”でストラップをプレゼント
(達成条件は、「一般 or マイボウラー」、「男性 or 女性」、
「中学生以上 or 小学生以下」で異なります。)

2回来場プレゼント

来場ごとに押印するスタンプが2コ集まればオリジナルグッズをプレゼント



ROUND1 × Hello Kitty
©1976, 2012 SANRIO CO., LTD. ®

2012年8月1日～9月30日まで

ボウリング大会・競技会

様々な大会・競技会を計画



投げ放題プラスキャンペーン

「投げ放題+ワンゲーム」、「投げ放題+投げ放題」を割引価格で提供
(ストラップや無料ゲーム券などの“お得なプレゼント”あり)



アミューズメント

話題の新型機種を導入

ガンスリンガー ストラトス (スクウェア・エニックス)

- ・シューティング体感ゲーム
- 約6割の店舗に導入 (稼働中)

maimai (セガ)

- ・音楽体感ゲーム
- 国内全店舗に導入 (稼働中)

ダークエスケープ (バンダイナムコ)

- ・シューティング体感ゲーム
- 国内のほぼ全店舗に導入 (稼働中・一部設置予定含む)

メダル会員制度の変更 (2012年8月1日より)

会員ステータスの変更等に関するポイント集計期間の変更

<変更前> 1年 <変更後> 1カ月

来場頻度や顧客単価の向上へ



カラオケ

最新機種を全店舗に導入

「JOYSOUND f1」 (エクシング)

- ・2012年6月発売 業界最多の20万曲収録
- 5画面動画再生機能

カラオケルーム設置の全店舗に導入済み

人気キャラクタールーム

「ONE PIECE」や「ハローキティ」などの人気キャラクターをテーマにしたルームを設置 (店舗により異なります)。

ROUND1 × Hello Kitty

©'76, '12 SANRIO



既存店舗対策



スポッチャ

無料シャトルバス

好評につき運行店舗を大幅に拡大

8店舗 **36店舗へ** (一部運行予定店舗を含む)

【従来より運行中の8店舗】

宇都宮店	新潟店	朝霞店	上尾店
入間店	堺中央環状店	岡山妹尾店	熊本店

【新規に運行を開始した28店舗】

旭川店	札幌北21条店	札幌・白石本通店	函館店
秋田店	さいたま・栗橋店	市川鬼高店	川崎大師店
長野店	浜松店	中川1号線店	名古屋西春店
半田店	豊橋店	みえ・川越IC店	金沢店
京都伏見店	和歌山店	城東放出店	高槻店
枚方店	高松店	小倉店	博多・半道橋店
佐賀店	大分店	鹿児島宇宿店	沖縄・宜野湾店

(注) 中川1号線店は、2012年8月10日より運行予定

広告宣伝

「NMB48」とのコラボ

ラウンドワンのテレビコマーシャルに

「NMB48」のメンバーが出演



【シャトルバス編より】



今後の出店



2013年3月期オープン店舗

日本

オープン予定時期	店舗名 / 出店予定地域	店舗タイプ
2012年 4月19日オープン済み	ダイバーシティ東京 プラザ店 (東京都江東区青海:お台場フジテレビ本社ビル前)	スタジアム(スポッチャ含む)・ロードサイド (大型商業施設『ダイバーシティ東京 プラザ』内)
2012年 4月27日オープン済み	千日前店 (大阪市中央区難波:千日前通り沿い)	スタジアム(スポッチャ含む)・繁華街
2012年 12月下旬	(仮称)池袋店 (東京都豊島区東池袋:サンシャイン60通り沿い)	スタンダード・繁華街

アメリカ

オープン予定時期	店舗名 / 出店予定地域	店舗タイプ
2012年 9月頃	(仮称)モレノ バレー店 / カリフォルニア州	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)
2013年 春頃	(仮称)レイクウッド店 / カリフォルニア州	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)

【注意】

- ・オープン時期及び店舗名は、諸事情により変更される場合があります。
- ・出店計画店舗につきましては、予告なしに出店を中止・変更する可能性があります。
- ・上記以外への新規出店は原則凍結することとし財務体質の強化を図りますが、デベロッパー側にて内装を含めた初期投資額の大部分を負担頂ける場合は、首都圏の大型ショッピングモール内や十分な収益が見込める物件に限り出店する可能性があります。

米国への出店



米国店舗の現況と今後の展開

2010年8月、第1号店をプエンテヒルズモールへ出店

・2012年3月期の売上構成比 アミューズメント 57.2%、ボウリング 20.8%、飲食 15.5%、カラオケ4.0%、その他2.5%

【既存店舗と今後の出店予定】

	オープン（予定）時期	店舗名 / 地域	店舗タイプ
1	2010年8月オープン済み	プエンテ ヒルズ モール店 (カリフォルニア州 ロサンゼルス)	ロサンゼルス中心街より東へ車で約30分 プエンテヒルズモール内 http://www.puentehills-mall.com/
2	2012年 9月頃	(仮称) モレノ バレー店 (カリフォルニア州 リバーサイド)	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)
3	2013年 春頃	(仮称) レイクウッド店 (カリフォルニア州 レイクウッド)	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)

1店舗当たりの設備投資予定額・・・約5億円（うち約2億円はファイナンス・リースを活用予定）

日本と米国のボウリング市場

	日本	米国
市場規模	約820億円	約70億ドル (約5,600億円; US\$=¥80)
センター数	約900センター (ほぼ民営のみ)	約5,350センター (民営: 約4,800センター / その他 (軍・教会等: 約550センター)
レーン数	約25,000レーン	約111,000レーン
参加人口 (1年に1回以上ボウリングをする人口)	約1,780万人	約7,100万人

【米国のボウリング市場の現況】

大手2社 (Brunswick、AMF Bowling) が約400店舗、準大手が約50店舗程度を運営しており、その他のほとんどは家族経営のセンターである。不況時に強く、ここ数年間は安定成長を継続している。古いタイプのボウリング場は年々閉鎖され、ボウリング以外のアイテム (ゴーカート、アーケードゲーム、ミニゴルフ等) で複合化された店舗が年間20~50店舗程度建設されている。他のレジャー (ゴルフ、釣り、テニス、ビリヤード、サイクリング、ローラースケート、アイススケート、マラソン) に比べて参加率が非常に高い。身近な社交の場として、平均所得者以上の層の利用割合が増えている。

(『レジャー白書2011』を参考に当社による推定値を記載)

2013年3月期 全社売上と既存店前年比 実績と計画



全社売上 実績と計画 (連結ベース)

(単位未満は切り捨て表示)

	単位	第1Q	第2Q	上期	第3Q	第4Q	下期	通期
		実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
ボウリング	億円	72	81	156	68	93	162	319
アミューズメント	億円	84	96	181	85	92	178	359
カラオケ	億円	18	21	40	20	23	43	83
スポッチャ	億円	23	28	52	21	32	54	106
その他	億円	7	8	16	7	8	15	31
総売上	億円	207	235	447	203	249	453	900



第1四半期の実績が確定しましたが、第2四半期以降の計画は期初より変更しておりません。従いまして、第1四半期の実績と以降の四半期計画等を集計しても、上期計画や通期計画の数字とは合致しませんので、ご了承願います。

既存店売上前年比 実績と計画 (単体ベース：米国店舗を除く)

(小数第2位を四捨五入)

	単位	第1Q	第2Q	上期	第3Q	第4Q	下期	通期
		実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
ボウリング	%	13.3	6.7	8.4	4.7	1.5	2.9	5.7
アミューズメント	%	11.4	7.4	8.7	5.5	2.5	4.0	6.4
カラオケ	%	7.5	6.3	7.0	2.3	+0.5	0.9	4.0
スポッチャ	%	3.8	+4.5	+2.6	+6.6	+10.4	+8.9	+5.7
その他	%	7.4	3.2	3.6	4.8	4.0	4.4	4.0
総売上	%	10.9	5.6	7.1	3.8	0.3	1.9	4.6



店舗の状況



出退店の推移

	出店数		退店数		期末 総店舗数
	日本	米国	日本	米国	
～2004年3月期	45		4		41
2005年3月期	6				47
2006年3月期	11				58
2007年3月期	15				73
2008年3月期	11		1		83
2009年3月期	13		2		94
2010年3月期	11				105
2011年3月期	3	1			109
2012年3月期	1				110
2013年3月期(予定)	3	2	1		114

期末総店舗数の内訳				
日本				米国
スタンダード		スタジアム		スタンダード
繁華街	ロードサイド	繁華街	ロードサイド	ロードサイド
7	34	-	-	-
8	34	-	5	-
8	34	-	16	-
8	34	-	31	-
8	34	-	41	-
7	45	-	42	-
7	55	-	43	-
8	57	-	43	1
8	58	-	43	1
9	57	1	44	3

7店舗の退店理由(契約期間の満了:5店、近隣に大型店を新築:1店、テスト店舗の閉鎖(テスト期間 約2年):1店)

2008年3月期に退店した『富士店』は、翌2009年3月期に完全に建て替えを行い、新築リニューアルオープンしております。

エリア別店舗数(2012年7月末現在)

出店エリア	北海道・東北	北陸・甲信越	関東	中部・東海	関西	中国・四国	九州・沖縄	アメリカ	合計
店舗数	10	4	33	14	31	8	11	1	112
シェア	8.9%	3.6%	29.5%	12.5%	27.7%	7.1%	9.8%	0.9%	100.0%

各種お知らせとIRに関するお問い合わせ先



本資料取扱上のご注意

本資料は投資の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料により被った全ての損害について、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません。なお、本資料は作成日現在の情報をベースにしており、その作成には細心の注意を払っておりますが、その内容についてその実現を保証するものではなく、万が一内容に誤りがあった場合においても、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません（万が一、数値等に誤りを発見した場合には、ホームページ上にて訂正させていただきます）。本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ラウンドワンに帰属しており、いかなる目的であれ無断で複製又は転送等を行わないようお願いいたします。

IR方針(サイレンス期間)について

弊社では、投資家の皆様への公平を期するため、原則として決算発表（四半期決算を含む）の約2週間前よりIRに関する取材をご遠慮頂いております。ただし、事業に関する基本的な内容、過去に発表済の内容、及び現在進行中のイベントや企画に関するお問い合わせや取材等はお受けいたします。以上、皆様のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。

ホームページへのアクセス先

【PC用ホームページ】

<http://www.round1.co.jp> もしくは

【携帯用ホームページ】（お客様用/IR情報等なし）

docomo、Soft Bank、au

<http://www.round1.co.jp/mobile/>



携帯電話からの携帯用ホームページへの接続料や通信料(パケット料)はお客様のご負担となりますので、ご注意願います。一部の機種では、モバイルサイトをご覧いただけない場合がございます。

お問い合わせ先：株式会社ラウンドワン 管理本部 (072)224-5115